



信州の名水・秘密に選定された「一番清水」

阿智村下清内路にある「一番清水」が、この度、「信州の名水・秘水」に選定された。これは、長野県が良好な水質、美しい景観、歴史的な価値を有し、地域の誇りとして守られてきた名水の中から特に優れているものを「信州の名水・秘水」と位置付けるもので、県下三六ヶ所の候補から「一番清水」を含め十五ヶ所を選定した。

「一番清水」は、清内路平瀬地籍の国道二五六号線沿いにある湧水で、昔から地域住民の飲み水として利用されているほか、旅人の喉を潤す水としても大切にされてきた。

近年では、この水を求めて近郊の飯田市はもとより、遠くは中京方面からも多くの方が訪れ、休日などは順番待ちをする光景も珍しくない。

このように賑わいを見せる「一番清水」の環境を守っているのが「一番清水の会」という地域住民で構成されるボランティア組織。会では訪れる方に気持ちよく利用していただくため、定期的に草刈や掃除などを行っている。

また、会ではこれを機に、更なる環境整備を行なうとともに、清水を

県が信州の名水・秘水を選定 飯伊からは「一番清水」

利用したイベントを行い、地域振興を図るうと考えている。

「一番清水」のほか飯田、下伊那地域には国の名水百選に選ばれた「猿

ると思いましたが。市内には更に小型のマイクロ水力発電の実験が数機行なわれていきます。

私たちの暮らす南信州は、幸いにも水が豊かに流れています。一般河川や農業用水路などから取水し、電力を二四時間生産し続けるこのクリーンな小水力発電の活用への期待に心が躍ります。

皆様もぜひ一度元気に会いにお出掛け下さい。

二月七日、飯田市美術博物館科学工作室で「南信州・希少野生植物保護対策会議」が開催され、飯田、下伊那地域で自然保護活動を行なう団体、自然保護レンジャー、希少野生動物保護監視員、市町村など関係者三〇名が参加した。

当日は長野県環境保全研究所の大塚自然環境部



長年の講演、希少野生植物の保護活動などについて

南信州・希少野生植物

保護対策会議開催

来年度も継続開催へ

の意見交換が行なわれた。講演では、南信州にある希少野生植物の状況や最近問題となっているアレチウリなどの外来植物の広がりに関する話も話された。

また、意見交換ではヤシヤイノデの保護活動の状況、ササユリが咲く里山の手入れ、ハナノキの保全などについて、活動をしている団体からの報告をもとに、参加者らが意見を述べた。

その中で、希少野生植物を保全していくためには、チラシの配布や市町村の広報誌を活用して、身近なところで希少野生植物の紹介をするなど、更なる啓発を積極的に行なうとともに、保全活動には地域の協力が必要との意見も出された。

また、今後の会の活動について、「植物にだけ限定するのではなく、動物を保護している団体にも声をかけ活動の輪を広げていく必要がある」などの意見が出された。

事務局では来年度も年二回、対策会議を開催する方向で計画をしている。

選定された「信州の名水・秘水」

名称	所在地
千曲川源流	川上村梓山
大沼の池の湧水	御代田町塩野
血ノ池、周辺湧水群と濁川	御代田町血ノ池
越百の水	飯島町飯島
一番清水	阿智村清内路
御嶽山 三の池	木曾町三岳
御嶽神社里宮御神水	王滝村王滝
阿寺溪谷美顔水	大桑村野尻
上高地清水川	松本市上高地
平出の泉	塩尻市平出
雨飾山湧水	小谷村中土
お種池	長野市大岡内
豊丘の穴水	須坂市豊丘
谷巖寺の井戸 延命水	中野市赤岩
北野点満温泉湧水	栄村堺北野



百万人のキャンドルナイト in 南信州実行委員会総会

【日時】
三月二十五日(木)
午後六時から

【場所】
飯田市役所りんご庁舎
三階会議室

【問合せ先】
百万人のキャンドルナイト in 南信州実行委員会事務局
谷口彰(長野県地球温暖化防止活動推進員)
電話
〇二六五(二四)四八二二
ファックス
〇二六五(五六)三七二二
Eメール
takeyo_i_fes@lion.ocn.ne.jp
写真提供 桜井勝司氏



飯田・下伊那地域の長野県地球温暖化防止活動推進員のOJT等実践強化型研修を兼ねた「百万人のキャンドルナイト in 南信州」(二〇〇九冬至)が十二月十九日(土)飯田市の中心市街地「丘の上」を中心として、雪の降る中、「愛&結」をテーマに実施された。

りんご並木では、若者達が約三週間かけて



製作した竹宵三〇〇〇本が雪の中で幻想的な雰囲気を出し、中心市街地内外では、商業会やビ

今年六月五日(土)には、「環境」だけでなく「街のにぎわいづくり」も念頭に「百万人のキャンドルナイト in 南信州」実行委員会が中心となり、南信州のりんごをモチーフに、蜜蜂の蜜ろうで作ったローソク「蜜ろうアップル」を製作し、家庭やお店など、どこでも気軽に取り組めるイベントとして、キャンドルナイトを実施するよう準備を進めている。

開催に向けての総会を開催しますので、我こそはと思う方は、下記事務局まで御連絡ください。

リレーメッセージ

家中川小水力市民発電所を訪ねて 地球温暖化防止活動推進員 小澤敦子

山梨県都留市役所前に流れる幅三メートルの中川。その豊かで力強い流れを生かした直径六メートルの水車「元氣くん1号」に会いに仲間と出かけて来ました。

名前の通り元氣よく回っている水車に思わず目を見張り、「活躍してくれてありがとう！」と拍手したい思いで一杯になりました。建設費約四千万円のうち千七百万円を市民が出資(鶴の恩返し債の名称)し、平成十八年四月から運転開始とな

雪の中のキャンドルナイト

竹宵三〇〇〇本で幻想的に

製作した竹宵三〇〇〇本が雪の中で幻想的な雰囲気を出し、中心市街地内外では、商業会やビ

編集後記

一面には、飯伊地域から「一番清水」が信州の名水・秘水に選ばれるという、うれしいニュースをお届けすることができました。また、記事にはできませんでしたが、南信州レジ袋削減推進協議会の取り組みが、環境省主催の「平成二十一年度容器包装3R推進環境大臣賞」において「地域の連携協働部門」で「奨励賞」を受賞するというニュースもありました。これも皆様の日頃からの努力が一つの形となったものであると思えます。

他面においても、各分野からの提言等を掲載しましたので、参考にして今後のそれぞれの活動に生かしていただけたらと思います。

今後も、この環境ネットが各推進員等の活動の支えや、皆様の情報交換の場になっていけるよう努力していきたいと思えます。皆様からの投稿や、情報提供などをお待ちしています。

山の奥での保護活動

希少野生動物保護監視員 熊谷久一

「ヤシヤイノデ」の盗掘事件前までは、日本鹿による植林木や農作物の被害に目が向いていたのですが、深く遠い山奥での盗掘事件が発端で、鹿食害や人の行為で希少植物がなくなっていく深刻な状況をあらためて知ることとなりました。これをきっかけにして、「ヤシヤイノデ保全の会」ができ、入会しました。

「信州大学自然環境診断マイスター養成」を受講して

環境ウォッチャー 菅沼浩一



これは、文部科学省による「社会人学び直しプログラム」の一つとして実施されました。私は中高年のボケ防止にと全く不純な動機から、また、親として理系の息子達の世代やその分野の学びの世界を垣間見、共有するには良い機会だとも思い、平成二〇年度秋スタートの後半コースから信州大学理学部に通いました。その内容たるや、基幹実習の野外・室内実習の組み合わせにより、各テーマは地学、気象、水質、湖沼、動植物生態調査、

の再生を願っているの、現地への植付けは最後の手段になります。いずれにしても、長い取組になりそうです。

溪流が好きで、長い間、谷底を這いずり回っていましたが、先輩と叔父に聖岳へ誘われ、山行きを再開。山野草をこよなく愛する叔父の影響を受け、

それは小さな「ミ」?

不法投棄監視連絡員 佐々木 洋子

不法投棄のパトロールは、皆さん日頃大変だと感じながら、自分のパトロールの力不足を感じています。

大きなゴミではありませんが、未だに車で走っていて窓からタバコを捨てられるのです。道路は灰皿じゃないのに、と思うのですが、その車の運転手を注意することも出来ない。走り去ってしまう。火の付いたタバコは火災の原因にもなってしまいます。

ひどい人は、信号待ちの時に車の灰皿を道路に捨てられるのです。道路にはタバコだけでなく色々なゴミが簡単に捨てられています。まずは幼いうちから、地域のゴミゼロ運動などに参加し、ゴミのモラルを勉強してもらいたいなと感じています。

業証書と共に、分厚いレポート集と資料集です。A4版で製本された物だけで、厚さ数センチ、重量数キロもある印刷物でした。私の今回のポスター発表のテーマは、「南アルプスを世界遺産に」でしたが、これからもこの様なテーマに沿って、良き「森の・自然の番人」たる者に少しでも近づけたら良いなと思います。「それぞれの想いのある桜かな。」芭蕉

林道脇の植物

自然保護レンジャー 中島道遙

月に二、三度、下伊那各地の林道に、見回りを兼ねて自然を愛でに出掛ける。

四季折々の風情があり「山滴る」頃には「ツルニンジン」の花が草むらから顔を出し、「山装う」季節には、やや大型だが「タムラソウ」や「サラシナショウマ」の花に、渡りチョウのアサギマダラが群がっている。



タムラソウ

つきり減り、その種類が極めて少なく、場所によっては全く見かけなくなった。その理由は、刈払機の普及にあると思う。全草一斉に根元から刈り取れる。見栄えはよいし、作業が楽。しかし、刈り取られた植物、特に一年草は種子を落とす前に刈られたら、次の年から芽を出さない。宿根草も二、三年続けて刈り取れば消滅してしまう。今に絶滅危惧種の数が増えるかもしれない。



アサギマダラとサラシナショウマ

← いかがなものか? ※「山滴る」は夏、「山装う」は秋の季語

地球温暖化防止活動推進員としての活動

地球温暖化防止活動推進員 関島純子

温暖化問題をバックキヤストで考えるため、活動のスタンスは①効率の良い。②排出されるCO2を極力少なく。③既存の組織との交流の活発化です。

それで、資料は必要最小限に連絡、情報と意見交換はメール使用と、きわめて効率的ですが、批判もあって現在は定例会を月二回しています。

ササユリの現地視察をさせて頂いて

環境課 環境管理員 吉澤由美

私が下伊那地方事務所環境課に勤務させて頂き、一年が経とうとしています。

この一年の中で勉強させて頂いた事は数多くありますが、その中のひとつに、六月にありました希少野生動物保護対策会議に同行させて頂いた事がありました。その時、ササユリの現

地視察をさせて頂きました。ササユリを見るのは初めてで、うすピンクのとてもきれいな花が、所々に見られました。立ち止まって見とれてしまう程きれいな花でした。その花を守られてきた会の方々は、下草刈りや立木の枝打ち、間伐、花一本一本に添え木をされ

たり、盗掘や無断採取を防止する為の看板を立てるなど、入念な作業と心配りをされてこられたのだと知りました。その様な会の方々のお骨折りがあからこそ、自然の中に美しく咲くササユリを見る事ができるのだと改めて思います。みんなが、自然に対する当り前のマナーを持ち、自然の中に足を踏み入れる事ができたらいいのではないかと思います。美しい自然を存続する為に

大出前講座」で風車を作って豆電球を点灯させる講座を小学生と大人対象に二回実施しました。体験が大事と言われて

いますから、これはお勧めの講座だと思えます。化学肥料や農薬の排出するCO2削減と地中に固定されているC(炭素)の排出を抑えるため、不

耕起栽培の『自然農法』の勉強会をしました。どちらも好評を得ています。自然エネルギーと自然

農法研究会を発足させましたので、それを町の活性化に繋がれたらと夢



写真提供 小林正明氏

みえています。